研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
内田明子他			慢性腎臓病患 者とともにす すめるSDM実 践テキスト		東京	2020	122-127
	透析治療と意思 決定		Nursing To dayブックレ ット		東京	2020	21-31
岸弘美、田村	腎臓病療養指導 士のためのCKD 指導ガイドブッ	活動法人日	導士のための		東京		p61-68, p92-96
阪善隆、岡田 浩一、内田明 子、要 伸也		研構研業不対替始せ定と和ア究長究 全す療/のプ最医の開寿開高患る法見意口適療構発化発齢者腎の合思セな・築機学事腎に代開わ決ス緩ケ	患者のための 保存的腎臓療 法-conservati ve kidney m anagement (CKM)の考え 方と実践	社	東京	2022	各該当ペ
	腎機能低下患者 に対する免疫抑 制薬の適正使用. 腎移植.	薬物療法学 会			東京	2021	514-518

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
内田明子	透析換えの共同意思決定(SD M)のあり方	臨牀透析	37 (4)	333-338	2020
内田明子	治療選択支援とShared Dec ision Makingの課題	臨牀透析	36 (3)	227-232	2020
要伸也	腎臓病療養士活動の今後の 展開と評価 杏林大学医学部 腎臓・リウマチ膠原病内科	日本腎臓学 会誌	63 (4)	420	2021
阿部雅紀	慢性腎臓病治療における多 職種連携の実態〜大規模ア ンケート 調査の結果から〜	日本腎臓学 会誌	63 (6- E)	666	2021

阿部雅紀	腎臓病療養指導士の活動実態と今後の展望〜大規模アンケート 調査の結果から〜		63 (4)	421	2021
	Effectiveness and current status of multidisciplinary care for patients with ch	Nephrol	doi: 1 0.1007 /s1015		2022
要伸也	腎疾患対策検討会報告書の 進捗と課題.	腎臓内科	16 (6)	676-681	2022
伊藤孝史、柏原直樹.	慢性腎臓病(CKD)対策にお ける地域連携・多職種連携.			1952-195 8	2022
柏原 直樹、山本 稔也、山内佑.	厚生労働行政推進調査事業 および厚生労働科学研究(腎 疾患政策研究事業)の進捗と		16(6)	648-655	2022
	慢性腎臓病患者の生活の質 に影響を及ぼす要因の検討		64巻3 号	234	2022
内田明子	高齢腎不全患者の治療選択 に寄り添う看護:透析からC KMまで		68巻11 号	8-17	2022